# 令和4年度　第2回 宮崎県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時:令和5年2月 15 日(水)15:00～16:45
場所:ホテルメリージュ　鳳凰の間

1　開会

2　宮崎労働局長あいさつ

3　議題

(1)令和５年度宮崎県地域職業訓練実施計画の策定について

宮崎労働局より、令和５年度宮崎県地域職業訓練実施計画策定の方向性および中央協議会策定の全国計画について説明を行い、宮崎県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部より、令和５年度宮崎県地域職業訓練実施計画策定に関して、地域ニーズ、充足および応募状況等を踏まえた説明を行った。

＜質疑応答･意見交換＞

・デジタル系についてはかなり重視されていると思う。求職者側、企業側のニーズが随分反映されているのかと思う。

・介護については社会問題となっており、今後も大きな課題になってくるなかで、本県の実態として、介護関係のニーズはどうなのか。要するに、求職者支援訓練で来年度 147 人という計画の人数ほどのニーズがあるのか。

→応募者数については、特にこの２～３年はコロナの影響があり定員を超えるような応募はない状況。一方、医療・介護分野は求職者数より求人数が多い人材不足の状況である。

・デジタル系、情報系とも他の分野に比べると充足率が高いなかで、情報系の定員数を減らされる理由と、減らすことで支障はないのか。

→下限に関しては支障はないと判断している。WEB デザイン系は非常に申込みが多い現状があり、コースを設定すると 15 名定員のところに 50 名程応募がくるコースもある。全体数は変わらないため、計画上は WEB デザインの方にプラスしているという状況にある。また、直近の充足率の速報値でも、IT 系と WEB デザイン系では WEB デザイン系の方が応募者が多くなっている。

・委託訓練の長期コースに情報処理が設定されているが、募集対象者は、ある程度ＩＴスキルがある方をと考えているのか。

→今回は情報セキュリティマネジメント試験や、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験などを目指すコースです。

※実施主体より付記：募集対象者のスキル要件はありません。

・委託訓練は医療事務系でデュアル訓練の設定があるが、コロナ禍において訓練機関

は実習先を探すのに苦労している。臨機応変に実習期間を短くするとか見直すお考えというのはいかが。

→今後、感染症の扱い等も変わってくるが、国の委託実施要領に基づいて、皆さんのご意見を反映させながらと考えている。

・他の業種では、実際の求職者ニーズと企業のニーズがなんとなく計りやすいと考えるが、介護職となると、様々な介護ステーションやクリニックに不随する施設等、現場は全然人手が足りていなく、それが足りていくどころかこれから乖離していくばかりではないかと懸念している。

・介護で働く方々の声を聞くと、仕事は非常にやりがいがあるが、一番は休みが取れない。それは昨今の人手不足もあるが、労働にあった報酬があるかというと、なかなかないようであり、公的な部分でのしっかりしたサポート等が必要と感じる。

(2)令和５年度訓練効果の把握・検証について

「令和5年度訓練効果の把握・検証」について、公的職業訓練効果検証ワーキンググループのことも併せて宮崎労働局より説明を行った。

＜質疑応答・意見交換＞

・宮崎県という地域性を踏まえて農業分野、観光分野を対象とするのもありかとも考えるが、現状の農業分野、旅行・観光分野については計画数が非常に小さい数値となっており、効果検証自体もそこまでしっかりとした精度にならないのではないかという懸念もある。初めての効果検証では、デジタル分野で進めてはどうかと考える。

・宮崎特有の分野は数が少ないがために、個別の意見を拾えるという気もする。余裕があれば何名かでも抽出して、訓練受講についてどうだったかがわかれば、1枚のアンケートからアイデアが生まれるかもしれない。

→検討する。

(3)キャリアコンサルティングの機会の確保その他の職業能力の開発及び向上の促進の取組の共有について

宮崎労働局より、キャリアコンサルティングの概要について説明を行った。

＜意見交換＞

・所属していた企業では、キャリアコンサルティングを異動や昇進を見据えたところで、これまでやってきた仕事、それに対してどう取り組んできたか、状況の評価を資料にあるような流れでやっていた。

・年1回の人事聴取を行って、自分の能力はどういうものがあるか、どのようなことに興味があるか、どういうところを伸ばしていきたいかということを振り返って、実践していくようにしている。

・キャリアコンサルティングというか研修事業を行っているので、ご紹介させていただく。階

層別の研修、新規職員研修や中堅職員研修、チームリーダー研修等、講師も4～5人、ニーズに対応できるよう備えている。

・実際に面接となった時に、履歴書でなくてキャリアプランシートでもよい企業もある。自己の振り返りを、ある程度の年齢になるとなかなか行うことがないため、振り返ることがいいことだという意見もある。また、自分を知ることで為になるという意見もあるので、良い取組かと思う。

・内部労働市場での対応等はなかなか難しいと感じている。在職者の職業訓練のメニューの一環としてできれば外部で支援していただけるとありがたい。

・高校に出向いて、自分たちの仕事の魅力、やりがい等を先生や保護者、生徒に話すこと、あるいは仕事の大変さを伝えることで将来の職業選択の一助になるような取組は行っている。

・教育の段階から、キャリア教育をどう入れていくかを含めて、現段階では様々な良さがあるのだろうと推測する。

・労働雇用リテラシー講座を行っている。大学生から、早い時期に労働講座やものづくり講座等があるといいという意見も寄せられているので、小・中学生、高校生のうちから働くこと、いろいろな学びを社会に発信できたらと考えている。

・職業をしていく中でのお金の重要性のために、例えば証券会社の方による投資教育や税務署の方による話等、社会の仕組みを知っていただいて労働市場に近づけていけるよう取り組んでいる。

・そもそも外国人にとっては日本語の能力が大きな壁であり、かなりの日本語を理解していなければ、せっかく国が支援を用意してくれてもあまり利用できないのは勿体ないと考える。もう少し外国人の利用への配慮を考えてもらいたい。また、就労に関する在留資格の課題もある。

・キャリア教育でいうと、小学校段階から高校まで一貫して行っており、そのような中で職業のことを知ったり、生活設計のことを考えたりなど、望ましい勤労感、職業感を養うための教育を行っている。

・中学校から高校まで、労働行政の研修を行い、働いたらどうなんだ、社会に出たらどうなんだという話を講師ということで行っている。

4　閉会

結論

〇令和5年度宮崎県地域職業訓練実施計画（案）は提案内容のとおり策定の承認を得た。

〇令和5年度訓練効果の把握・検証の分野は「デジタル分野」に決定した。